

特認校 富沢小と家庭・地域をつなぐ学校だより



# みらい

旭川市立富沢小学校 No.14 平成27年 1月30日 発行

**学校教育目標**  
夢をもち未来を拓く子ども

**【目指す児童の姿】**  
かしこい子 (知)  
あかいい子 (徳)  
ねばりづよい子 (徳)  
たくましい子 (体)

**【実践の合い言葉】**  
きたえ ふれあう 富沢っ子

## 後期 学校評価結果について報告します

冬休み中に職員会議を行い、後期学校評価結果をもとに今年度の教育活動について反省し、次年度の教育活動の重点や改善点などについて検討しました。  
教師による自己評価結果(全45項目)をA・B・C・D4段階評定結果の内訳は次の通り。

	A評定	B評定	C評定	D評定
H26 前期	6項目	15項目	23項目	1項目
H26 後期	18項目	10項目	17項目	0項目

A評定が増え、C評定が減少したことから、学校改善に関して一定の成果が見られたと判断することができます。また、通常よりB評定が非常に少ないことは、本校の学校評価結果の特徴と言えます。

前期評価結果と比べ、評定の変化を見ると、

◎評定が上がった 17項目	○評定変わらず 26項目	△評定が下がった 2項目
---------------	--------------	--------------

となりました。しかし、決して満足のいく結果とは言えません。評定変わらずの26項目のうち、C評定のままという項目が15項目もあるからです。  
これらのことを踏まえた上で、次年度に向けた改善点をまとめましたので、ご覧ください。

### H26年度後期 学校評価(教師による自己評価)結果

結果処理  
◆100点満点にポイント換算とした集計処理  
(全員◎は100、全員○は50、全員△は25とするポイント)  
◆A:充分達成(85以上) B:概ね達成(84~70)  
C:達成不十分(69~50) D:早急に改善(49以下)

項目	評価項目	H26後期 達成度	過去の達成度			2年間の 平均
			26前期	25後期	25前期	
I 学校経営	学校評価を生かした教育の改善	88 A	69 C	100 A	94 A	88 A
	特認校としての質の高い教育活動	94 A	75 B	94 A	100 A	91 A
	全教職員の協働体制の確立	66 C	69 C	100 A	88 A	81 B
	他校種間の交流・連携	66 C	50 C	50 C	56 C	55 C
	保護者・地域との積極的な交流・理解	63 C	69 C	69 C	81 B	70 B
組織	校務分掌組織の適正化	56 C	63 C	75 B	88 A	71 B
	特別委員会の組織・運営	69 C	56 C	63 C	63 C	63 C
	学校危機管理意識体制の確立、不祥事防止	75 B	47 D	88 A	81 B	73 B

#### 「学校経営」H27年度 改善の視点

- 1 学校評価の意義をしっかりと理解し、確実に実践・改善に生かす。
- 2 特認30周年記念事業に1に向けて保護者・地域との連携を一層充実させる。
- 3 特認校としてより一層質の高い教育をめざし、改善・充実へ努める。
- 4 教職員の共通理解・協働体制が確立できるよう校務分掌組織を見直す。(向上プロジェクトを廃止)
- 5 教職員一人一人の危機管理意識と不祥事防止の意識高揚を図る。
- 6 教師自ら保護者や地域との対話を求めたり、足を運んだりするなど日常的な関わりを深める。
- 7 特別委員会のスリム化を図り、機能的な組織とする。

項目	評価項目	H26後期 達成度	過去の達成度			2年間の 平均
			26前期	25後期	25前期	
II 教務部	地域の特性を生かした教育課程の編成・改善	88 A	69 C	94 A	94 A	86 A
	日課表・週時程の工夫、授業時数の確保	63 C	81 B	88 A	88 A	80 B
	学校行事の計画・実施	88 A	75 B	94 A	88 A	86 A
	指導要録・出席簿・教科書・副読本等の取扱い	94 A	63 C	75 B	75 B	77 B
文化	作品展示・作品応募・鑑賞教室	66 C	63 C	81 B	69 C	70 C
	読書活動充実、図書整備	66 C	53 C	81 B	56 C	64 C
	視聴覚機器・コンピュータの整備、有効活用	59 C	56 C	47 D	47 D	52 C

#### 「教務部」H27年度 改善の視点

- 1 新教育課程の実施と改善・評価に取り組む。
- 2 より明確な時数管理システムの構築をめざす。
- 3 地域の特色を生かした「ふるさと学習」の見直しを図る。
- 4 全学年「英語活動」のカリキュラム編成と実践に努める。
- 5 係業務を再認識し、主体的・積極的な業務推進を行う。

項目	評価項目	H26後期 達成度	過去の達成度			2年間の 平均
			26前期	25後期	25前期	
III 生徒指導部	学校のきまりや生活目標に対する指導・取組・反省	63 C	63 C	100 A	100 A	81 B
	問題行動の早期発見・解決、組織的な対応	72 B	69 C	75 B	86 A	75 B
	生活習慣を定着のための学級指導や家庭との連携	56 C	69 C	94 A	59 C	70 C
	児童交流会や教育相談による児童の理解と指導	88 A	81 B	75 B	88 A	83 B
児童会	校内生活における安全指導	56 C	56 C	88 A	56 C	64 C
	児童会の企画、運営に関する適切な指導	56 C	56 C	88 A	69 C	67 C
	励まし合い・思いやりを育てる縦割り班活動	100 A	94 A	88 A	88 A	93 A
給食	朝会の運営・ねらい内容	94 A	75 B	88 A	86 A	86 A

#### 「生徒指導部」H27年度 改善の視点

- 1 生徒指導上の課題を明確にし、全校的な取組の実践や指導と評価活動に取り組む。
- 2 生徒指導部と児童会活動が連携し、しじめ対策に取り組む。
- 3 児童自ら危機回避能力を高めるための学級指導と行事の充実・改善に取り組む。
- 4 指導の成果と課題を明確にした上での『児童交流』に取り組み、より有効なものとする。
- 5 生活習慣の確立のため、家庭への報告・連絡・相談を細かく行う。

項目	評価項目	H26後期 達成度	過去の達成度			2年間の 平均
			26前期	25後期	25前期	
IV 保健体育部	体力向上や健康の保持増進のための体育的活動	94 A	63 C	100 A	81 B	84 B
	体育施設・用具・道具の整備・保管・点検・修理	56 C	69 C	81 B	56 C	66 C
保健	保健指導による衛生習慣形成	75 B	81 B	86 A	75 B	79 B
	縦割り班活動による清掃活動	88 A	88 A	75 B	81 B	83 B
給食	性教育指導	81 B	53 C	86 A	81 B	75 B
	正しい食生活の理解と習慣化を図るための指導	75 B	75 B	75 B	69 C	74 B

#### 「保健体育部」H27年度 改善の視点

- 1 「富沢っ子体操」による柔軟性向上に関する効果を検証する。
- 2 「走力」を高めるための体育的活動の工夫に取り組む。
- 3 器具室の用具類の整理整頓心がける。(児童・教師ともい)
- 4 「学校保健委員会」の組織・運営を見直し、機能させる。

項目	評価項目	H26後期 達成度	過去の達成度			2年間の 平均
			26前期	25後期	25前期	
特色ある教育活動	問題解決的な学習で学び方の定着	79 B	79 B	100 A	86 A	86 A
	言語活動(書・話)の重点的指導	86 A	71 B	79 B	64 C	75 B
	客観的な資料を活用と指導の工夫改善	86 A	79 B	79 B	68 C	78 B
	朝自習・家庭学習・読書活動	82 B	71 B	100 A	71 B	81 B
	共同研究推進による授業力向上、学力向上	68 C	93 A	100 A	86 A	87 A
豊かな心	心に響く道徳の時間の充実	57 C	57 C	54 C	42 D	53 C
	道徳性アンケートの実施、重点化を図った指導	50 C	54 C	54 C	67 C	56 C
	自他の生命を尊重する指導	86 A	71 B	100 A	71 B	82 B
たくましい体	未来に夢や希望をもたせるキャリア教育の指導	71 B	57 C	57 C	50 C	59 C
	特学校や障害者施設との交流学習	86 A	50 C	79 B	46 D	65 C
とふるまふ	富沢タイムでの各種運動の取組	100 A	86 A	100 A	100 A	97 A
	体力テスト結果を踏まえた体力づくりの実践	100 A	93 A	93 A	100 A	97 A
習き	めあてをもち、ねばり強く運動に取り組む態度	93 A	86 A	86 A	79 B	86 A
	給食指導やふれあい給食で望ましい食習慣の形成	71 B	75 B	79 B	86 A	78 B
習き	地域の方々の心をつなぐふるさと家族制度	71 B	71 B	64 C	64 C	68 C
	富沢のよさを生かし、富沢に学ぶ『ふるさと学習』	93 A	71 B	82 B	79 B	81 B

#### 「特色ある教育活動」H27年度 改善の視点

- 1 「家庭学習」の充実を図るための学校・学級と家庭との連携を図る。(「家庭学習」に関しては児童・保護者アンケートでも評価が低い。)
- 2 「私たちの道徳」を有効活用した道徳の時間の充実を図る。
- 3 子どもたちの生活習慣を調査し、学力・体力・豊かな心を一層向上させるための課題と対策を明確にする。
- 4 地域の学校としての責務を果たすために、今後も「ふるさと学習」や「ふるさと家族制度」の継続と改善に取り組む。



## 学校評価結果から 2年間の学校経営を振り返る

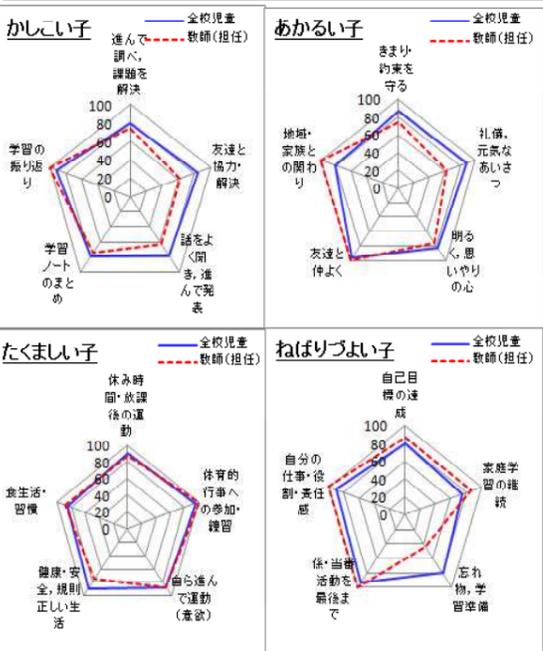
学校評価結果の推移から、2年間の学校経営の総括をするために、同じ項目で評価活動を行って参りました。評価者全員「O」は50ポイントとしたり、平均70ポイント以下を「C」評定と判定したりするなど、通常よりかなり厳しい評価方法を貫いてきたことありますが、何よりも反省すべき点は、2年間、ずっとC評定のままの項目がいくつもあったことです。C評定のままだった項目は、

- 学校経営・・・他校種間連携、保護者・地域との交流、特別委員会の組織
- 各部業務・・・作品・図書・情報視聴覚、道徳教育など

改善のための取組は行ってきたものの、残念ながら十分な成果を上げることができませんでした。これらは、どれも学校教育における喫緊の課題であり、待ったなしの改善が求められている内容でもあります。  
次年度は学校の重点課題として、教職員の総意のもと、使命感をもって全力で改善に取り組むよう努力して参ります。

観 点	全校児童				教師(担任)				
	H26後期の達成度	過去の達成度 H26前期; H25後期; H25前期	H25後期	の2年平均	H26後期の達成度	過去の達成度 H26前期; H25後期; H25前期	H25後期	の2年平均	
<b>かしこい子</b>									
1 進んで調べ、課題を解決	80	B	80; 83; 79	80	75	B	88; 100; 75	85	A
2 友達と協力・解決	85	A	92; 85; 73	84	63	C	100; 75; 75	78	B
3 話をよく聞き、進んで発表	78	B	79; 86; 76	80	63	C	63; 88; 75	72	B
4 学習ノートのまとめ	80	B	82; 88; 82	83	75	B	75; 100; 69	80	B
5 学習の振り返り	92	A	92; 100; 86	92	100	A	100; 88; 88	94	A
「かしこい子」総合(平均P)	83	B	85; 88; 79	84	75	B	85; 90; 76	82	B
<b>あかるい子</b>									
1 きまり・約束を守る	86	A	81; 77; 69	70	75	D	88; 63; 75	75	D
2 礼儀、元気なあいさつ	89	A	91; 89; 95	91	63	C	88; 63; 75	72	B
3 明るく、思いやりの心	83	B	82; 87; 86	84	75	B	88; 100; 63	82	B
4 友達と仲よく	96	A	100; 97; 97	97	100	A	100; 100; 88	97	A
5 地域・家族との関わり	82	B	91; 97; 92	90	100	A	100; 88; 100	97	A
「あかるい子」総合(平均P)	87	A	89; 89; 88	88	83	B	93; 83; 80	85	A
<b>ねばりづよい子</b>									
1 自己目標の達成	81	B	81; 89; 83	83	88	A	88; 63; 88	82	B
2 家庭学習の継続	76	B	86; 94; 89	86	88	A	100; 100; 88	94	A
3 忘れ物、学習準備	81	D	78; 85; 70	73	44	D	75; 56; 56	50	C
4 係・当番活動を最後まで	93	A	90; 92; 89	91	100	A	88; 88; 75	88	A
5 自分の仕事・役割・責任感	90	A	91; 93; 92	92	100	A	75; 88; 75	85	A
「ねばりづよい子」総合(平均P)	84	B	85; 87; 85	85	84	B	85; 79; 70	81	B
<b>たくましい子</b>									
1 休み時間・放課後の運動	90	A	91; 89; 94	91	88	A	100; 88; 100	94	A
2 体育的行事への参加・練習	96	A	95; 95; 94	95	100	A	100; 88; 88	94	A
3 自ら進んで運動(意欲)	87	A	85; 92; 82	87	88	A	75; 88; 63	78	B
4 健康・安全、規則正しい生活	89	A	96; 92; 88	91	75	B	75; 100; 50	75	B
5 食生活・習慣	85	A	86; 86; 80	84	88	A	69; 63; 56	69	C
「たくましい子」総合(平均P)	89	A	91; 91; 88	90	88	A	84; 85; 71	82	B

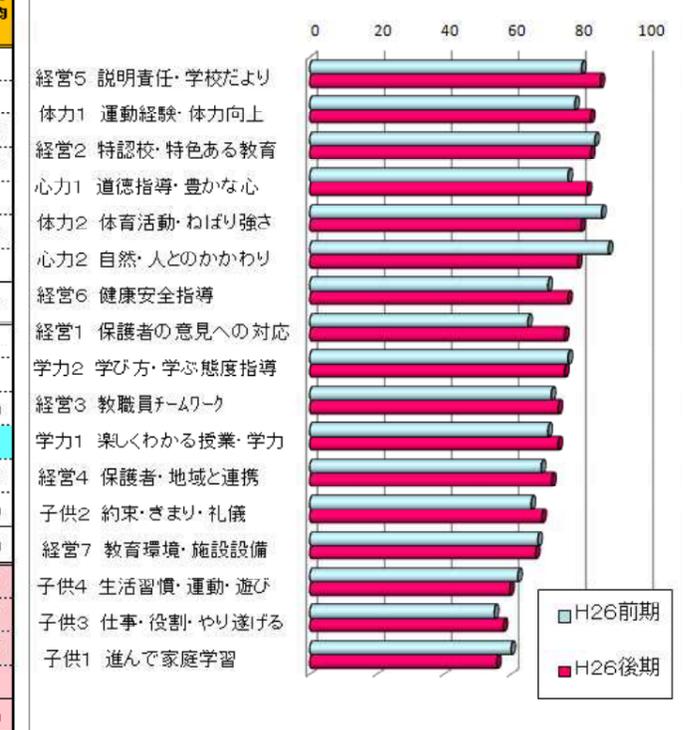
後期 児童振り返りアンケート結果グラフ (児童・教師比較)



A:とても思う B:やや思う C:あまり思わない D:まったく思わない

【学校経営について】	合計人数				H26後期達成度	過去の達成度			2年間の平均
	A	B	C	D		H26前期	H25後期	H25前期	
経1 保護者の意見への対応	14	10	3	0	76	65	80	64	71
経2 特認校・特色ある教育	17	9	1	0	84	85	89	76	83
経3 教職員チームワーク	14	8	5	0	74	72	89	78	78
経4 保護者・地域と連携	13	9	5	0	72	69	85	73	75
経5 説明責任・学校だより	18	9	0	0	87	81	89	80	84
経6 健康安全指導	13	14	0	0	77	71	89	74	78
経7 教育環境・施設設備	10	15	0	0	67	68	87	62	71
【指導について】	ABERAGE				77	73	87	72	77
学1 楽しくわかる授業・学力	13	11	3	0	74	71	80	72	74
学2 学び方・学ぶ態度指導	13	13	1	0	76	77	83	70	76
心1 道徳指導・豊かな心	17	8	2	0	83	77	87	75	80
心2 自然・人とのかかわり	15	11	1	0	80	89	96	75	85
体1 運動経験・体力向上	17	9	1	0	84	79	94	76	83
体2 体育活動・ねばり強さ	15	12	0	0	81	87	83	70	80
【お子様について】	ABERAGE				80	80	87	73	80
子1 進んで家庭学習	5	16	6	0	56	60	54	51	55
子2 約束・きまり・礼儀	9	18	0	0	69	66	74	60	67
子3 仕事・役割・やり遂げる	7	13	6	0	50	55	58	51	55
子4 生活習慣・運動・遊び	8	11	8	0	60	62	60	62	61
	ABERAGE				61	61	62	56	60

保護者アンケートの達成度 (H26 後期ポイント順)



後期に頑張ったこと	低学年	中学年	高学年
〇算数をがんばりました。今はできます！	〇給食をいっぱい食べている。	〇委員会活動	〇忘れ物を減らした。
〇一輪車大会をがんばりました。	〇好き嫌いをしないで食べている。	〇マラソン記録会	〇委員会活動を最後までやりぬいた。
		〇ふれあい合宿	〇スポーツ・家庭学習
		〇学芸発表会	〇字をきれいに書く。
		〇算数の計算	〇友達に優しい言葉遣いをした。
		〇委員会活動	〇漢字をたくさん覚えること。
		〇清掃・係活動	〇忘れ物をしない。
		〇とびばこ	〇忘れ物を減らすこと。
		〇家庭学習	〇忘れ物を減らすこと。
		〇運動	〇友達が仲良くできた。
		〇給食	〇国語のテストの結果
			〇家庭学習
			〇挨拶
			〇運動
			〇漢字

今後の改善の視点

- 児童の自己評価で最もポイントの低い「家庭学習の継続」に関して、学校としての適切な指導の下、児童の学ぶ意欲と能力を高める。
- 忘れ物を減少させるための具体策を考え、全学級共通した指導に取り組むとともに家庭へも協力を呼びかける。
- 礼儀正しさやあいさつは本校児童のよさの一つとして、今後も一層伸ばすことができるように全教職員での指導に心がける。

児童自己評価結果の考察	教師の評価結果の考察
〇全体的には児童の振り返り(自己評価)は、前期と比較して「ほぼ同じか「やや低下」傾向にある。	〇4観点の中では、「かしこい子」(学習)、「あかるい子」(豊かな心)に関わる評価が大幅に低下している。
〇4観点の中では、「かしこい子」(学習)に関する自己評価はやや低い。	〇学習中における意欲・態度を向上させるための対策が必要である。
〇「きまりや約束を守る」や「忘れ物」については毎回少しずつ評価が高まってきている。	〇日常的なあいさつに関する評価も低く、早急な指導が望まれる。
〇「家庭学習の継続」については、児童の自己評価が最も低い項目である。	〇忘れ物や学習準備に関しては今回は最も評価が低く、児童の自己評価との差が大きい。
	〇「きまり・約束・明るく・思いやりの項目も10ポイント以上下がっている。



保護者アンケート結果の考察
〇保護者の満足度が比較的高い項目は、「説明責任・学校だより」「特認校・特色ある教育」「運動経験・体力向上」であった。
△学校経営に対する満足度は低い。PTA・地域との連携は管理職だけでなく、全教職員が一体となって取り組んでいく必要がある。
△教育施設や設備の充実に関しては保護者に伝わりにくい内容でもある。
△学習指導に対しては、やや満足度は低い。
△今回も、我が子に対する評価は低い傾向にある。家庭教育の充実に関する啓蒙を図るとともに、学校として児童が「進んで家庭学習」に取り組むことができるように指導を充実させていく必要がある。



◆富沢の教育をよりよいものにするためのご意見・ご要望	●学校としての回答
〇次年度の高学年は人数が多いので、理科・社会は補助教員で対応してほしいです。他校の6年生と同じ学習内容の確保がこのままでは難しいと思います。	◆小規模校に対する支援員やTTのための教職員の加配は難しい面もありますが、要望は出ていきたいと思っています。
〇いじめもなく、お友達同士が仲良くできるのは、いつもきめ細かい指導をしていただいている先生方のおかげだと思っています。	◆教師の観察や児童からの申出により、小さなトラブルがいくつか報告されていますが、常に教職員が話し合い、共通理解のもと早期解決を心がけています。(今後も些細なことを見逃さず、組織的に対応して参ります。)
〇市内の小学校をいろいろ見てきて富沢小学校に入学を決断したので、本当によかったと思います。しかし、地域の高齢化のため田植えやふれあい活動などが難しくなっているとのこと。富沢小のよさが削減されてしまうことは残念です。これに代わる体験学習が増えることを願っています。	◆特認校として継続してきた、伝統的な教育活動も地域高齢化により継続が困難な面も出てきていることは事実です。従来の活動の継続、あるいは新たな特色ある教育活動の展開のために、次年度も「富沢の教育を語る会」などで学校と保護者が話し合い、皆様のお知恵をお借りしながら、よりよい方向を模索して参りましょう。
〇これからも先生方と保護者が力を合わせてこのような行事を行えたいと思います。	◆保護者皆様の学校に対する協力的・奉仕的な態度にはいつも感謝しております。これからもよろしくお願いたします。
〇子どもがいろいろな経験ができて、すこすばらしいと思います。	◆学習活動において体験を通して学ばせることは特に重要です。今後も体験活動の充実・発展をめざして参ります。
〇子どもたちが自分の意見(考え)で発表するようになったほうがよい。(先生方からの指導が入りすぎ。)	◆児童一人一人が自分のよさを発揮しながら、自分にあった学び方を身に付けさせることができるようにより一層学習指導を充実したものにして参ります。
〇富沢っ子祭り、ふるさと家族などあり方を考えた方がいい。富沢っ子祭りは学校主催とし、学校が具体的な方針を出すなど主導して取り組んだほうが親たちも受け入れられると思う。すべてPTAに任せられると、頼同士のトラブルになったりしやすいので..	◆富沢っ子祭りには、授業(学校)とPTA活動の2つの側面があります。基本的にはPTA活動の部分は研修部を中心に主体的に取り組んでいただいております。課題があれば、第2回目の役員会(7月)で提案し、解決することが必要かと思っております。
〇PTA部会に担当になっている先生がもっと加わるべきです。	◆どの部会も13~14時の設定であり、担当の先生の出席は難しいのが現実です。夕方~夜に時間を設定していただければ出席可能かと思っております。ご検討ください。
〇児童、先生、保護者間で対話を積極的に行うことがよい関係を作り上げていくことになると思う。	◆児童・保護者・地域・教職員がつながり、ふれあい支え合う姿が学校の理想であり、それぞれが良好な関係を保つよう努力していくことが大切です。

**児童振り返りアンケート結果のまとめ**

〇児童アンケートではほぼ80~90ポイントの高い達成度で推移しており、児童の自己肯定感が高いと判断されます。教師の評価も平均80ポイント前後ですが、40~100ポイントと項目により大きな差が見られるのが特徴です。

〇児童と教師の評価結果の差が大きい項目がいくつかあります。教師が求める姿と児童の意識の差であると判断しました。このことを改善するためには、教師が求める姿をしっかりと伝え(指導し)児童一人一人の様子を細かく観察し、よさや成長ぶりを認め励ましていくことで、差を縮めることができるよう努力して参ります。

〇家庭学習に関する項目は児童アンケート・保護者アンケートともに最も評価が低い内容です。このことを重く受け止め、次年度は学校と家庭との連携を一層深め、「自ら進んで学ぶ子」の育成をめざしていきたく思いますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いたします。